

東京ミッドタウン日比谷でGW期間に開催される「HIBIYA LIVE FESTIVAL 2026」[ステップショー]のオープニングアクトにミュージカル『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』カンパニーが登壇し、森公美子さん、彩風咲奈さんがトークショーを行いました。



MC：このミュージカルですが、『天使にラブ・ソングを』のタイトルで日本でも大ヒットした映画が原作になっています。2014年に帝国劇場で日本初上陸を果たし、連日満員の客席に笑いと感動が舞い降りました。その後も再演を重ね、全国各地で熱狂の渦を巻き起こしてきた本作が、ファンの皆様の熱い要望にお応えする形で、今年2026年に6度目の上演を行なっています。主演の歌手・デロリス役には日本初演から同役を演じ続けている森公美子さん、そして今回新キャストとして元宝塚歌劇団雪組トップスターで退団後初のミュージカル出演となる彩風咲奈さんのWキャストが実現しています。

今日は、東京公演の千秋楽を終え、来月から全国ツアー公演を控える森さん・彩風さんに、作品に寄せる想い、また作品のエピソードなど時間の許す限りたっぷりお話を伺ってまいります。

MC：劇中では、お二人のツーショットというのは見られないので、今回、非常に貴重な場面かと思います。

森：そうですね。でも稽古場では隣に座っていて、一人の稽古が終わると、もう一人がやるという感じでずっとやっていたんです。私は…芋をふかしてきたよね？（笑）

彩風：そうなんです。クミさんの芋で養っていただきました（笑）。

森：「卵焼き作ったんだけど」っていうこともあって、本当に仲良くさせていただいて。サキさん（彩風咲奈）もオープンハートな方だから夜中にLINEをしてくれたこともありました。

MC：作品の中だけでなく、舞台裏もハッピーオーラが出てたんですね。

森：そうですね。私は長く演じてるのに踊りを忘れてしまったりした時も、「サキちゃん、あそこどうだったっけ？」って聞いたりして、サキちゃんに頼ってましたね（笑）。

MC：なるほど（笑）。作品についても色々伺ってきたいのですが、今回は「HIBIYA LIVE FESTIVAL」への参加ですので、お二人は日比谷と聞くとどんなエピソードが思い浮かびますか？

彩風：私は（東京ミッドタウン日比谷の）お隣が東京宝塚劇場ですので、日比谷は通い慣れた場所という感じですね。逆にちょっと緊張します。日比谷に行くと思うと、宝塚の頃を思い出してちょっと気持ちがビシッとなるというか。

森：すごいですね。私なんかこの下のバン屋によく買い物に行っています。ご飯食べに行って映画も見ますし。本当に日比谷は便利な街ですね。そして、サキちゃんは宝塚を退団して1年半経つんですね。その間にミュージカルは出演されず、この『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』が退団後初ミュージカルということで、この作品に全集中してくれてたのかなと。やっぱりサキちゃんってすごいと思います。

MC：今、そこで溜めたパワーを放出している感じでしょうか。

彩風：そうですね。退団後初めてのミュージカルがこの作品で本当に毎日幸せなんです。お稽古場から、Wキャストとしてクミさん（森公美子）から学ばせていただくことが沢山ありまして、隣に並んで一緒にお菓子とか食べながら台本を開いてお話す時間も含め、最初の作品でこのような時間をいただけたことが本当に幸せでした。

森：楽しかったね。本当に良い時間でした。「ここちょっと違いますよ」みたいなことを言ったりしてね（笑）。私は12年もやってるのにまだドキドキするんですね。

MC：カンパニーの雰囲気がとても良かったというのが伝わってきます。

森：本当に良かったです。体調不良の方がお出になった時も、みんなで歌を分け合って全員一丸となってやりました。皆この作品が好きで集まっているんですけど、素敵なカンパニーだなとつくづく思いました。

MC：なるほど。今回の東京公演は明治座での上演でしたけれども、1ヶ月終わってみていかがですか？

彩風：明治座という歴史ある劇場で『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』を上演するというのは新鮮さがありますよね。

森：明治座はいつも3月公演の出演者が「節分祭」の豆まきイベントに登壇されるんですが、今回私たちはなんとシスターの格好でやったんですね。異教徒ですよ（会場笑）。また、うまい棒が軽くて遠くに飛ばないんですよ。そこに5円とか貼ったら飛ぶんだと思うんだけど、（投げても）戻って来るんですよ（笑）

彩風：風が強かったですしね（笑）

MC：色々エピソードがあったんですね。彩風さんは東京公演の手応えとしてはいかがでしたか。

彩風：本当に楽しかったっていう言葉が最初に出てきます。舞台上演するのが1年以上ぶりで、どんな感じになるんだろうと。やはり宝塚の舞台と違いますし、怖い部分もありましたが、クミさんとは舞台の上で一緒にいることはないですけども、舞台稽古ではずっと傍にいてくださって心強かったです。昼と夜の公演の入れ替わりの時に、私が夜公演の時は、昼公演のクミさんが帰って来られるのを楽屋の前で出待ちしてお迎えしたり、逆に私が昼公演の時は—

森：私が出待ちしてるんですよ、イエーイ！って言いながら。

彩風：そうですね。そういうところでパワーをいただいています。カンパニーの皆さんとは初めまして、私はとても人見知り不安もあったんですけども、それももう忘れるぐらい、今、本当に楽しいです。

森：人見知りだったの？（笑）全然知らなかった！

彩風：人見知りです（笑）

MC：今明らかになった事実ですね。今日のイベントの直前の控え室でも、皆さんのお互いのリスペクトをひしひしと私も横で感じていました。

森：良かったです。これでも初演の時は色々ありましたね。本物の修道院にお勉強に行かせていただいて、その時に「シスターはこんなことしない」と演出家とやり取りした思い出があります。最終的には「これはエンターテインメントです」という所に落ち着きましたが（笑）。

MC：そんなことがあったんですね。彩風さんは今回初参加となりますが、今まで自分の中で思い描いていた本作のイメージと、実際にご自身が参加してみてギャップはありましたか？

彩風：あまり準備しないうちに稽古場に臨んだといいますが、真っ新たな状態で行こうと思っていました。やはり女性役を演じるというのが初めてでございまして（会場笑）。私が踏み出す一歩がだいぶ大きかったりとか、松村雄基さん演じるカーティスがせっかく手を広げて迎えてくれるのに、私は更に下からカーティスを抱き上げる形をよってしまいました（笑）。そうしたらクミさんが「サキちゃん！上から！上からいくんだよ」と言ってくださった（笑）。

森：サキちゃんに「この作品の中でどの役をやりたい？」って聞いたら、「カーティスです」って答えてたよね（笑）

彩風：そうですね（笑）。本当に何も分からない状態からスタートしたので、ギャップを感じるというよりは、発見ばかりでしたね。

MC：カーティス役についてお客様の反応が凄いですね（笑）。

彩風：オファーをお待ちしていますね（笑）

森：カーティス役やって欲しいわ。

MC：この『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』は、幕が開いた瞬間から見どころ、聞きどころのオンパレードの作品で、音楽はディズニー映画の名曲を手掛けるアラン・メンケンが手がけていて、作品自体もブロードウェイミュージカルの楽しいところをギュッと詰めたような作品ですが、お二人のお好きな場面を伺いたいです。

森：私は、修道院長とのシーンで、「これは神の御業なのです」「これは人間同士のつながりなのです」という気づきの場面があるんです。そこはツレさん（鳳蘭）の目がキラキラ光って涙を溜めてらっしゃるのが分かって。私はもうその時点でグーッと泣いてますが、抱きついた瞬間に、子供をあやすように背中を叩いてくださるんです。そのシーンが大好きです。

MC：聞いているだけでジーンと来てしまいますね。彩風さんはいかがですか？

彩風：好きなシーンばかりなんですけど、1幕の後半、「Raise Your Voice」から最後みんなで歌うシーンが続くのですが、そこでやっと初めてシスターの皆さんと触れ合う時間が始まるんです。そこまでは修道院に来たばかりで、まだ皆さんとコンタクト取るときがないので。開幕してから、やはりお客様の盛り上がりや、お客様がこんなに参加してくださっていて、一緒に物語を楽しんでくださっていることを感じておりまして、それも含めて本当に好きな場面で、感動しましたね。

MC：お二人の言葉にも表れてますが、やはり笑いだけではなく、この感動という部分も『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』の魅力ですよね。そして東京公演は千秋楽を迎えまして、5月からはいよいよ全国ツアーが始まりますね。大阪、長野、森さんのご出身の宮城、最後は愛知と、4カ所をまわって5月31日が大千歳となります。このツアー公演でどんなことが楽しみでしょうか？

森：もう大阪入った途端に女子会をする企画があります（笑）。私が企画しております、男子禁制で、シスターと私たちでね。

MC：どんなことをされるのか、少し教えていただけますか？

森：ただの粉物パーティーですね（笑）。大阪名物を皆で食べるという企画で、美味しいもの食べて、面白い話とかできたらなど。私結構面白い話持ってるんですよ（笑）。舞台中に、シスター・メアリー・ロバート役の梅ちゃん（梅田彩佳）の衣裳のジッパーが開いてたんですよ。「私もね」って台詞を喋りながら上げて、台詞の言い終わりでボンって叩いてきたよという合図をしたり。私すごく得意なんですよ、緊急事態に強いタイプです（会場笑）。

MC：なるほど（笑）。彩風さんはツアーに向けて、何か楽しみにされていることはありますか？

彩風：大阪は宝塚に近いこともあり本当に慣れ親しんでいて、色々な方が見に来てくださるのが本当に嬉しいです。あとは私は名古屋でうなぎを20日間連続で食べ続けたという歴史があるんですよ。

森：えー！？

彩風：話盛ってないですよ！（笑）本当に20日間、ずっと夜ご飯はウナギを食べ続けたんです。

森：鼻血出ちゃうんじゃないの（会場笑）。

彩風：今度またその記録を延ばせるのが楽しみです（会場拍手）。名古屋では全食うなぎを食べたいと思います。

MC：お話をまだまだ伺いたいところですが、お時間に限りがありますので、結びとして、お二方からメッセージをいただきたいと思います。

彩風：今日は皆様にお会いできて本当に嬉しかったです。ありがとうございます。『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』はまだまだツアー公演が続きます。私は自分が出演しているのにそれを忘れるくらい物語に没頭していて、なおかつ、お客様の愛を本当に間近に感じられる作品ってなかなかないと思っています。本当に素敵な作品なので、ぜひその熱を感じて見に来てくださると嬉しいです。ありがとうございます。

森：私は多分これが最後の『天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～』になるんじゃないかなと思ってはいるんですけども、思いっきり本当に楽しんで終わりたいと思っています。それでもまた次の回に出てきたらごめんなさい（笑）